

保育所における自己評価

【 沓谷おひさまの森こども園 】

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
園の保育理念・保育方針について	園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している		○			園内ミーティングの実施により理念や保育方針の浸透や方向性の統一へと繋げている。
保育について	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した保育計画となっている	○				各クラスの環境設定の見直しを行う。今の子どもたちの姿を捉えながら、必要なものが何か職員同士で話し合い構成していきまいた。都度見直し変更していった。
	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	○				
	評価、資料(諸記録)を集積している	○				
	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	○				
	気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している		○			
	地域の特色や季節に触れる活動を設定し、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	○				
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	○				
	それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	○				
	保育についての話し合いをよくしている		○			
	それぞれの役割を把握し、チーム保育として適切な動きができています		○			
健康管理について	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○				マニュアルを元に共有を行い、一人一人の認識を高めていった。内容の統一がなされていない所もあったので共有していくことを欠かさずに行く必要があった。
	玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	○				
	乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○				
	園や地域の感染症の状況について、保護者に情報提供し、協力を仰ぎ、感染拡大防止に努めている			○		
行事について	行事の種類や実施回数は適切である		○			少しずつコロナの緩和もあったが、子どもたちの安全を守るための内容としていた、保護者と同じ想いにならない所も生じていた。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	○				
	新型コロナウイルス感染症対策を考えた上で、適切な運営を検討している	○				

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
食育について	食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○				動画の作成をし給食室から食育として発信していった。音楽に合わせて聞いたことにより馴染み深いものとなった。
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○				
	調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている			○		
運営について	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある		○			保育を行いながらの打ち合わせとなっていたため、共有漏れとなってしまうことがあった。
	各種会議を適切かつ効率的に進めている		○			
	打合せ回数、時間、内容は適切である			○		
保健・安全指導について	年齢別・クラス運営に生かされるような安全チェックマニュアルの整備など対策を講じている		○			担当制にしたことで最低月に一回の点検をおこない、衛生的に快適に過ごすことが出来るように努めた。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		○			
	事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○				
	廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		○			
	室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		○			
研修・研究について	発達に合わせた毎月の課題を明確にし、日常の保育の向上に生かしている		○			研修への参加は進んで行うことが出来たが内容の共有がうまく出来ずにいた。今後活かしていけるように共有の時間を大事にしていこう。
	部内・部外研修への参加態勢を充実を図っている		○			
	研修報告を園内で実施している		○			
情報について	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○				一人一人の認識をしっかりと持つことが出来るようにマニュアルを元に徹底して共有を行っていった。
	個人情報にの取り扱いについて研修を行い、園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○				
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	○				
設備について	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○				役割を分担を行いこまめに点検できるようにしていった。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	○				
保護者支援について	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている			○		コロナ禍ということもあり、機会を持つことが困難だったり、お迎え時間の短縮化で様子等のお伝えがうまくできないことが多々あった。
	クラス懇談や個別懇談を行っている					
	入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		○			
	園だよりや行事などを通し、園での様子を伝える機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている		○			

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
開かれた保育所づくりについて	園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している				○	地域への開放が思うようにできなかった。次年度は計画的に地域との連携を行っていけるようにしていきます。
	職員による育児に係る「子育て相談」は充実している			○		
	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	○				
	中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	○				
	来客や地域の方に明るく挨拶をしている	○				
情報発信について	園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている			○		様々な方に様々な形で園の事を知っていただけるようにもっと発信していきたい。
	地域の小学校や専門施設と連携をとり、地域で子どもを育む努力をしている		○			

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止について、子どもたちはもちろん、保護者のみなさまのご協力、ご理解をいただくことが多くありました。ここに通うみなさまの毎日を、一緒に考え守っていくことが出来たこと心より感謝申し上げます。今後につきましてははやっとコロナ感染対策の緩和状況となります。日ごろや行事を通して子どもたちの育ちをたくさん発信していきたいと思っております。

令和5年3月31日
園長 鈴木 志穂